



寒さと春が行ったり来たり…
そんな中、庭先の梅の花が咲き始めました
確実に春が訪れています

いつも子どもが主人公（そしてあなたも主人公）

旅芸人 福尾野歩

「遊び」とは何でしょう？

そもそも「遊び」にこれだという答えがあるのでしょうか？僕は子どもと関わって50年になりますが、その答えはできません。出ないどころか解らなくなってしまうことすらあります。

「遊び」は一人でも二人でも小集団でもグループでも大人数でも「遊び」にかわりありません。

おてたまやおはじき テレビゲームで遊んでも遊びは遊びです。またスポーツも「プレイ」という言葉があるように 広義の上では遊びになるでしょう。音楽もジャズでもロックでもミュージシャンのことを「プレイヤー」と言いますから、これも広義では遊びに入れてもいいかもしれません。

ゲーム遊び、運動遊び、遊びうた、パネルシアター、エプロンシアター、紙芝居、折り紙、造形遊び、オペレッタ、劇遊び、リトミック、表現遊び、自由遊び、……………

ドロ団子を作るのも、プール、楽器、鼓笛、太鼓、ブランコ、滑り台、登り棒、などの遊具を使った遊びも「遊び」でしょう。鬼ごっこや缶けり、お手玉、わらべ歌などの伝承遊びもあります。絵本の読み聞かせも、お散歩も、給食も、排泄も子どもにとっては遊びの延長線にあるような気がします。よくトイレの中で用を足しながら唄っている子どもがいますが、あれも子どもたちにとっては解放された空間なのかもしれません。

また年齢別保育、縦割り保育、とその園の特徴は様々です。発達段階に合わせた遊びもあります。未満児のように、発達が成長段階にある子どもの遊びも遊び方が違って来でしょう。だからと言って未満児用に作られた遊びが、年長児に合わないかということ、かならずしもそうではありません。

抱っこしたり触ったりする遊びなのですが、大人も子どもも、お年寄りも小学生も、「気持ちを知って分かっていてくれる人」に抱っこされるのは、それこそ「気持ちがいい」ことなのでしょう。

ゲームや遊びうた、唄や、踊りそのものが大事ではなくて、歌いたくなるような保育、踊り出したくなるような保育こそ、求められているのではないのでしょうか。

またここで、現実問題ですが、園の日常保育の中ではこれを実現させていくことは、不可能に近いでしょう！？だからこそ、保育者の一人一人の力量と、遊びこなすチカラ、子どものようすをしきっかりと見抜く目を養わなければなりません。上手くなくていいのです。僕も含めすごい人なんて誰もいませんから。だったら子どもを真ん中にとらえた遊びをしましょう。

あなたも楽しい保育を。

いつでも子どもが主人公 そしてあなたも主人公

福尾野歩さんは、昨年、ピッコロルーム保育士研修に講師としておいでいただいております、本年も3月においでいただく予定です。全国の保育園・幼稚園の保育者向けセミナーを行っている、遊びの天才、旅芸人です。





K-net 子育てひろばの歴史・・・スタートから今

2003年、アイレックまつりの子育ての講座でネットワークづくりをテーマにしたイベントが開催された後、当時のアイレックセンター長であった菊池靖子さんがアイレックの会議室を開放してくださり、そこで、子育て中の母親たちが子ども連れで集まり、少し先輩の母親たちと一緒に清瀬で子どもを連れていく場所が欲しい・・・という話を何回か重ねました。今は、ウイズアイの理事である増田恵美子さんや子ども劇場の事務局長の長谷川さんも一緒でした。



当初から、「ほんの少しの間でいいから、子どもと離れてリフレッシュしてもらいたい。」「だったらコーヒータイムを設けよう。」「子どもと離れた時は、淹れたての美味しいコーヒーを飲んでもらいたいし、少しのお菓子もあるといいね。」「子どもと楽しめる手遊びや紙芝居なども一緒にしたいね。」子どもが幼稚園や小学校に上がった先輩ママ達は、自分たちの子育てを思い出し、自分たちが欲しかった支援をカタチにしていきました。子育て真っ最中のママさんたちは手作りのK-net ニュースを発行して、子育てに必要な情報を発信していったのです。

そんな先輩ママ達の熱い思いでスタートしたK-net 子育てひろばは、大勢の子育てママたちで賑わっていたのを、当時の子育て支援課の課長さんが視察に見え、行政の事業で・・・と言ってもらい、今の形になりました。

常設のつどいの広場が市内5カ所にある今でも、参加者が減らないのは、このお子さんと離れる15分のコーヒータイムがあることと、今でもアドバイザーが11時半からの手遊びコーナーを大切にしているからだと思います。

昨年12月のK-net 子育てひろばでは、ママさんたちによる音楽グループ「ムジカ・マード」の皆さんが手遊びコーナーで演奏してくださったり、1月は、アドバイザーによるお子さん向けの獅子舞いが披露されたりと、15年経っても大切なことが引き継がれていると感じています。



K-net リフレッシュ講座 <参加者の感想より>

K-netでは、毎年7回のリフレッシュ講座を行っております。ヨガやストレッチなどの講座を保育付きで行うことで、お母さんたちがリフレッシュできる時間としています。今年度は2回お料理の講座を計画し、11月の沖縄料理と1月には「きりたんぼ鍋を楽しもう！」を行いました。

「きりたんぼ鍋を楽しもう」では、一人一人がきりたんぼをご飯から作ったり、秋田の山菜やキノコの煮物などを食しました。

- 以前参加した友人から美味しかったと聞いていたので、参加できてよかったです。お昼からこんなに色々食べられて、子どものことも気にせず、ゆっくり過ごせてリフレッシュできました。
- 初めてきりたんぼを食べました。思っていた通り食感もよくて満腹になりました。“がんも”も手作りできるんだな・・・子どもにどれも食べさせてあげたい味でした。
- いつも2人きりで昼ご飯を食べているので、皆さんとお料理を手伝ったり、ご飯を食べながらおしゃべり出来て楽しかったです。“がんも”もお家で作ってみたいと思いました。
- とても美味しく幸せな時間でした。すべて美味しかったです。また、参加したいです。ありがとうございました。

.....

当日は朝から雪が降りましたが、たくさんの方々に参加いただきました。

保育に当たってくださった支援者の方々も、笑顔でお子さんと遊んでくださり、参加したお母さん方は安心して講座に参加いただきました。ありがとうございました。



ピッコロと私

支援者 吉成玲子

息子が就学前ギリギリのタイミングで、ホームビジターを利用するまで、ピッコロを知らませんでした・・・でも、これがきっかけになり、ファミリーサポートの保育サービス講習会を受講し、修了して提供会員になりました。私は、朝や夕方・夜の依頼はなかなか受けられず、活動は日中に限られてしまっているのが現状です。

そんな中で平成 29 年度は、正会員になり K-net アドバイザーをやらせていただきました。保育者ではなく、企画・運営する側になって、広場に参加するようになると、子育てひろばが安全で、居心地がよく、楽しい場所であって「また来ようね～!!」と思ってもらえるためには、どうしたらいいだろう?と考える機会になりました。

1 年間だけでしたが、この経験も大事に今後もいろいろな場所で、支援者として活動していきたいと思います。

皆さん、是非、K-net 子育てひろば・中里ひろばに足を運んでくださいね。



頼る人がいないわたしの心の支え

利用者 M/A さん

私は、清瀬市外に在住しており、たびたびピッコロさんを利用させていただいております。6 歳と 2 歳の息子がおりますが、上の子の小学校の行事のときなどに下の子どもの預かりをお願いしております。また、自身が病気の時や夫が出張の時には、下の子どもの保育園の送迎をお願いしております。長男の小学校入学を機に近隣市に引っ越してきたのですが、私の両親も、また、夫の両親も遠方に住んでおり、子どもたちの世話を頼める家族や知人もおりません。ですから、いざというときに頼ることができるピッコロさんの存在はわたしにとってとても大きなもので、いつも私の心の支えとなっております。ピッコロさんの保育は安全で、保育時の子どもの様子も詳しく丁寧に教えてくれるので、いつも安心してお願いしています。いつも本当にありがとうございます。



支援者養成講習会の受講者を募集します

平成 30 年度第 1 回保育サービス講習会を 5/14(月)～6/13(水)開催いたします。

この講習会を受講し修了するとファミリー・サポートの提供会員として活動ができます。

さらに、ピッコロに会員登録していただければ、支援者として活動が広がります。ピッコロでは、保育園迎え等から夜の一時預かりや団体保育、市外の習い事の送迎などもあります。お知り合いの方でお子さん好きで健康な方をぜひご紹介ください。

ファミリー・サポートきよせ 042-492-1139

～みんなの集いの場を考える～

清瀬南口児童館についての
市民意見交換会

清瀬市は新たに清瀬駅南口地域に児童館を整備する検討を始めています。

子育てを地域で応援する街の実現と共に、市の公共施設全体をしっかりと維持管理し、有効に使えるよう、子育て中の皆さんの考えを聞く「市民意見交換会」を清瀬市が計画しています。

市内在住の 0～18 歳の子どもを持つ保護者対象。保育付き(要予約)です。ぜひ参加し、皆さんのためにより良い施設の提案をしていただきたいと思います。

第 2 回 平成 30 年 3 月 18 日(日)9:30～12:00
児童センター会議室

【申込み】清瀬市企画部企画課

042-497-1802 締切 3/9

《会員状況 2018.2.28 現在》正会員 62 名・準会員 139 名・賛助会員 11 名（個人 7 名・法人 4 名）

◇3,000 円以上寄付者・30 名

*NPO の活動を維持していくため、寄付ばち袋を用意しています。お気持ちをお願いします。

♥賛助会員♥
(法人)



- 宇都宮レディースクリニック
- 宇都宮小児科内科クリニック
- スガハラ印刷



1月～2月の動き	— これからの活動予定 —
○ピッコロ △K-net、つどいの広場 1/5(金) ○定例会 1/9(火) △K-net 運営会議 1/10(水) ◆ガ/ア/ド 調整会議 1/12(金) △K-net ひろば(ファミサ) 説明 1/13(土) ○ピッコロルーム職員会議 1/15(月) HS ホームビジタースキルアップ研修会 1/16(火) ◆3～4 カ月健診(ファミサボ説明) 1/17(水) 清瀬市母子保健事業研修会 1/22(月) △K-net リフレッシュ講座/きりたんぼ鍋 ODDユニットファミリーサポート 保育サービス講習会開始(～2/26まで) 1/26(金) ◆子育て援助活動支援事業アドバイザー 研修(立川) 1/31(水)は新宿 1/29(月) ○支援者研修会 2/1(木) ○正会員のつどい 2/5(月) ◆ガ/ア/ド 調整会議 △K-net 運営会議 △つどいの広場調整会議 2/9(金) △K-net ひろば(ファミサ) 説明 2/10(土) ○ピッコロルーム職員研修 2/13(火) ◆3～4 カ月健診(ファミサボ説明) 2/14(水) 清瀬市母子保健事業研修会 2/16(金) HS 東京協議会 OG 研修会	◆ファミサボ HS=ホームスタート HV=ホームビジター 3/1(木) 10:00～○定例会(アイレック会議室) 3/2(金) 10:00～△K-net リフレッシュ講座/ストレッチ (ころぼっくるホール) 3/3(土) 10:00～HS 関東エリアホームビジターデー (アミューホール) 3/5(月) 9:15～ ◆ガ/ア/ド 調整会議(事務所) 10:00～△K-net 運営会議(事務所) 13:00～△つどいの広場調整会議(元町つどいの広場) 3/9(金) 10:00～ △K-net ひろば(ファミサ) 説明/アイレック) 3/10(土) 9:00～ ○ピッコロルーム職員会議(事務所) 13:00～○ピッコロルーム保育士研修(事務所) 3/13(火) 12:30～◆3～4 カ月健診(ファミサボ説明) 3/16(金) 9:45～ ◆提供会員茶話会(アイレック会議室) 3/17(土) 13:00～○ピッコロルーム保育士研修 3/19(月) 9:30～ ○責任者会議(事務所) 4/1(日) 10:00～ ○ピッコロルーム入所式 4/2(月) 13:00～ △つどいの広場調整会議(元町つどいの広場) 4/3(火) 10:00～ ○正会員のつどい(セミナーハウス) 4/4(水) 9:15～ ◆ガ/ア/ド 調整会議(事務所) 10:00～ △K-net 運営会議(事務所) 4/10(火) 12:30～◆3～4 カ月健診(ファミサボ説明) 4/13(金) 10:00～ △K-net ひろば(ファミサ) 説明/アイレック) 4/14(土) 9:00～ ○ピッコロルーム職員会議(事務所) 5/1(火) 10:00～ ○定例会(未定) 5/7(月) 13:00～ △つどいの広場調整会議(元町つどいの広場) 5/8(火) 12:30～ ◆3～4 カ月健診(ファミサボ説明) 5/11(金) 10:00～ △K-net ひろば(ファミサ) 説明/アイレック) 5/14(月) 13:30～ ◆保育サービス講習会(～6/13(水)) 5/27(日) 16:00～ ○第 15 回定期総会
<div style="border: 1px solid green; padding: 5px;"> <p>第 15 回定期総会のご案内 5月27日(日) 16:00～(会場未定) *正会員さんへ はご案内しますが、準会員さんは傍聴ができます ので希望の方は事務所へご連絡ください。</p> </div>	



《編集後記》

本年一月からスタートしている NTV の大河ドラマ「西郷どん」の登場人物の薩摩藩主、島津斉彬は「子どもは国の宝」と言い切った。このセリフは何度かあり、その度に「そっだ!!」と思う。

一人では何もできない未熟で生まれてくる赤ちゃんを周りの大人がミルクをあげたり、おむつをかえたり、あやしたり、お世話をすることで、赤ちゃんは体重が増え、背が伸び、やがて笑うようになり、ハイハイからつかまり立ち、歩行をする。

誰でも赤ちゃんだった。誰でもお世話をしてもらって成長してきたのだけど、いつか忘れて電車の中で子どもがぐずると「うるさい」と言い、子どもが間違えて足を踏んで「ごめんなさい」と言っても無視をする。

子どもは国の宝。未来の社会を担っていく大切な宝。お年寄りも宝。社会を作ってきてくれた宝。みんな宝。そんな人に関われる私たちは幸せ。

